

第33回 全国中学校空手道選手権大会 監督会議資料

審判長 佐伯 進

副審判長 渡邊 純一・江尻 昌広

【全体の注意点】

1. アリーナ内に入場できるのは、選手・監督・コーチ(IDカード所持者)のみとする。
各コートにおいて、IDカードは確認のみで回収は行わない。競技中は監督が保管する。
ただし、ドクターの記入があるメディカルカードはコート主任に渡し、競技終了後当該選手に返す。
2. 競技場内へ持ち込めるものは、安全具、タオル、飲料ボトル(ペットボトル可)、プログラムとする。監督のウェストポーチは小型なものとし、リュックサック等は不可とする。
3. 選手の服装について
 - ・上着の長さは、大腿部の4分の3までとする。
 - ・ゼッケンおよび胸マークの4辺を縫い付けること。4角(すみ)の縫い付けは不可。試合中に外れた場合、その試合のみ続行とし、次の試合までに付け直すこと。
 - ・袖および裾を内側に折り曲げる場合、必ず縫い付けていること(もしくはアイロンのりでとめていること)
 - ・右胸および背中襟下のメーカーロゴは認める。
 - ・組手安全具は(公財)全日本空手道連盟承認品を使用すること。
※本大会実施要項 10. 競技方法(4)組手競技について参照
 - ・服装および組手競技安全具について競技開始時コート内で指摘された場合、形は1分間・組手は2分間ルールが適用される。※その試合に限り監督は選手に就くことはできない。
 - ・頭髮の染色および脱色、ピアス、過度の空手着の変形は認めない。
 - ・競技者としてふさわしくないと判断された場合は出場を取り消す場合がある。
4. テーピングは1回戦からでもドクターの確認があれば使用できる。(メディカルカードに記入する)
5. 競技場内における待機
 - ・監督・選手は、各コートで誘導係の指示に従い、座って待機する。
 - ・次の選手は起立してコートサイドで待つ。
 - ・競技場内でアップできるのは、次の選手・チームのみとする。
6. 選手招集について、監督は責任をもって選手の行動把握をすること。生徒個人名の放送は入れません。
7. 競技場内に入場するときはIDカードを装着する(道着の中に入れたまま入らない)。
8. ルール違反の異議申立ては、次の試合開始前までに行う。それ以降は受け付けない。
9. プロテストおよび組手競技でのビデオレビューは行わない。

【形競技について】

1. 全試合 5 名の審判員による旗判定とし、トーナメント方式にて行う。三位決定戦は行わない。
2. 試合は 1 回戦より赤、青 2 名同時に演武を行い、その後エンドラインにて J1 の笛の合図で判定を行い、旗を降ろした後記録員が「赤、青の勝ち」コールを行う。
準決勝、決勝戦は 1 名ずつ演武
3. 1. 2 回戦は全空連第 1 指定形とし、同じ形を繰り返し演武することができる。
3. 4 回戦は全空連第 2 指定形とし、同じ形を繰り返し演武することができる。
4. 準々決勝戦以降は全空連競技形とし、4 回戦及び準々決勝以降は演武する形が連続しなければ、同じ形を演武することができる。
5. 赤帯、青帯は全空連承認品とし、各自必ず持参する。
※氏名、所属等の表示については、本大会実施要項 10. 競技方法(6)を参照
6. 審判の配置については正面側に一列に並び判定を行う。
形競技における礼は、演武開始時と演武終了時の 2 回のみとする。
コートの入退場時における過度な礼などは遅延行為とみなされ減点も考慮する。
7. 選手・チームは、モニターに自分の名前と形名が表示されたらコートへ入り演武を始める(選手・チーム名の呼出はない)。※個人競技は斜め入りとする
演武終了後、礼のあと真っすぐ後ろに下がりコートエンドラインにて審判の判定を待つ。
8. モニターに表示された形名が申告した形名と異なる場合、選手または監督が挙手をしてその旨を審判員に伝え訂正すること。
モニターに表示された形名と異なる形を演武した場合は違反となる。
9. 減点は、規程・ルール通りに行う。無駄な息吹や足音、道着をたたく行為には十分に注意をする。加点要素も 10 項目をもとに評価する。
10. 違反について(全空連形競技規定第 5 条一違反)
 - ・ 演武前後の礼をしなかった場合
 - ・ 帯が床に落ちた場合
 - ・ 明らかに形が中断した場合
 - ・ 申請した方と異なった形を演武した場合
 - ・ 指定形で大きな変化があった場合

【組手競技について】

1. カデットルールでおこなわれる。
2. 三位決定戦はおこなわない。
3. 選手は、モニターに自分の名前が表示されたらコートに入る(選手の呼出は行わない)。
試合後に、タッチ・握手等は行わない。
4. 負けた選手は、随時退場する。
5. 試合が連続する場合のインターバルは、次の通りとする。
 - ・ コーナーが変わる場合・・・3 分
 - ・ 同じコーナーの場合・・・1 分 30 秒

6. 監督は必要以上の指示を行わない。

※審判のジャッジに反する主旨の主張などは競技規定に則って、退場となることがある。

7. 団体戦 2 回戦までは勝敗が決まっても全選手が試合を行う。

8. 棄権者がいる場合は、必ずコート内で棄権を告げる。両者棄権の場合でも必ず告げる。

9. 団体戦において双方 2 名の場合、オーダーは先詰めとする。

以上